



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「言葉より行動を」	“Talk Less, Do More”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」	“Start Future Now”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」	“To walk together, echoing each other”
中部部長主題	「将来を見つめたワイズ活動」	を今やってみよう！
金沢クラブ会長主題	“ Y's Be Ambitious !!”	

2015 3月間強調 JWF

今月の聖句 (担当 澁谷洋太郎君) 心ころを騒がせるな。神を信じなさい。そしてわたしをも信じなさい。 ヨハネによる福音書 14章 1節	3月強調月間 皆様の感謝の気持ちが、ワイズ運動を支えます。 JWF 献金にご協力をお願いします。 高瀬稔彦 JWF 管理委員長 (岩国みなみクラブ)
3月例会 プログラム と き 2015年3月19日 (Thu.) 18:30~20:30 と ころ 金沢ニューグランドホテル 会 費 ¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (メット) 司会 澁谷洋太郎君 開会・点鐘 清水淳会長 主 題 司 会 者 ワイズソング 一 同 今月の聖句 司 会 者 ハッピーバースデー 清水淳会長 食前の感謝 伊藤仁信君 スピーチ オールメンバー 委員会報告 各 委 員 ニコニコタイム 幸正一誠君 Y M C A の 歌 一 同 閉会・点鐘 清水淳会長	2月 クラブ活動状況 第1例会 (2月19日 Thu.) メ ン : 朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水 西、藤井、山内、山本 (10名) 出席率 : 100 % メネット : 伊藤、数沢、山本 (3名) ゲスト : 大西中部部長、織田氏 (2名) 第2例会 (2月1日 Sun.) メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内 (5名) メネット : なし (0名) ニコニコタイム 12,000円 クラブファンド 累計 74,500円 BFポイント 切手 300g 累計 300g 現金 600円 累計 14,100円
会 長 清水 淳 書 記 山内ミハル 副 会 長 澁谷洋太郎 会 計 伊藤仁信 直前会長 幸正 一誠 メット会長 数澤淑子	第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311 第二例会 : 毎月1日 18:30~20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

藤井 辰男

「私は 20 才の時、オーストラリアの地を踏みしめた。その瞬間、何とも言えない感情が込み上げてきた。私の夢、オーストラリア・ニュージーランド 6,400km、サイクリングの旅の出発であった。中学生の頃から、世界を見てみたいとの思いがあった。冒険に憧れ、旅行記を読みふけた。『よし、俺は行くぞ…』と心に決めたのが高校1年生の頃であった。小遣いを少しずつ貯め、色々なアルバイトもした。現地の資料があまりなかった当時、開催されていた万国博に、胸をときめかせながら何回も足を運んだ。そして、それまでの想いを噛みしめながらオーストラリアの地に立ったのである。

この4ヶ月の旅で多くの出会いがあった。自然の神秘さ、人との出会い、また神様との出会いでもあった。静まりかえった夜、砂漠地帯で寝袋にもぐり込み、たった一人で夜空を眺めていた。今までに見たことのない満天の星・南十字星が輝いていた。とても神秘的であった。砂道での逆風、いくら漕いでも前に進まない。ハエが何匹も目に留まってくる。とうとう私は、愛車の自転車を置き去りにして歩き出してしまった。振り向くと、自転車は淋しそうに私をじっと見つめていた。気を取り直し、また戻った。

多くの人たちの優しさに出会った。野宿する場所を探していると、今夜、私の家に泊まりなさいと声をかけてくれる人がいた。久し振りに家庭の雰囲気を楽しんだ。出発の朝、その家族の方が記念写真を撮ってくれた。人々の心の優しさ感謝し、またペダルを踏みしめた。日本に帰ってから知ったのだが、その方から両親宛てにその時の写真を添えて、手紙を送って下さっていた。『あなたの息子さんは元気に旅をしています。ご安心ください。』と。謝の気持ちで胸が熱くなる。

私は身体いっぱい風をうけるのが好きだ。そよ風・強い風、暖かい風・冷たい風、風にもリズムがある。風をうけていると、生きているという生命感がわき上がってくる。そして自然と神様に生かされているのだと。

私はこの「私の夢」、青春の旅があったからこそ YMCA と出会うことができたのです。大学1回生の夏、偶然に高校の柔道部の先輩に会い、私の夢を語りました。「英会話を勉強せんと…」、その日の内に先輩に連れて来られたのが、なんと、奈良 YMCA だったので。

私は、青少年と共に歩むボランティアリーダーとして YMCA の活動にかかわりをもつことができました。

YMCA 活動を通して子どもたちと出会い、人と向き合うことで心に響き合う新鮮なものを感じました。とても価値あることに会うことができたのです。

その後、私の歩むべき道が示され、奈良 YMCA に奉職しました。多くの人々との出会いにより、私を育てていただきました。私の人生において大きな転機となったのは、YMCA と出会い、キリスト教信仰に導かれたことです。

初めて奈良 YMCA の門をたたいて 44 年、私の青春の旅は今も続いている。……風をうけながら。

金沢クラブに入会して

朝倉みゆき

金沢ワイズメンズクラブに入会しました朝倉みゆきです。一昨年 12 月の例会に朝倉に付いて参加させていただいた時でした。

「ワイズに入って！」と山内ミハルワイズと数澤淑子メネットにお声を掛けていただきました。

私がワイズを知ったのは今から 6 年ほど前になります。YMCA の総会に出た時でした。金沢クラブ、金沢犀川クラブの皆様が YMCA の大きな力と支えとなつて、ゆきん子キャンプ、たけのこキャンプ、いも煮会、募金活動などに参加する度に両クラブの活動されているのを見ました。

お誘いのお話を受けて、朝倉を誘って入会したいと思いましたが、今のところは一人で入会させていただくことになりました。



大西中部部長によるバッジの着装

1 月、2 月の例会に参加し、今月の聖句「目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい」を聞いて自分はそのようにできているかと考えながら過ごす時間を与えられ、反省したりしています。また「スピーチ」のお話に学び、思いがけない知識を

頂き、次はどのようなお話が聞けるかととても楽しみになっています。

毎月の第三木曜日が1ヶ月の区切りのように思えて、あたふたと暮らす生活にも、変化が見られるようになりました。

これから一員としてどうぞ宜しくお願いいたします。

【2月例会報告】

今月のうれしいニュース。朝倉みゆきさんの入会式が行われました。雪が心配される中、四日市から大西中部部長も駆けつけてくださり、質素ではありますが、心温まる入会式となりました。

食事後、織田勉氏によって、「金沢紅茶について」と題してのスピーチがありました。織田氏は昭和24年、京都から金沢に転居され、『上林茶舗』を開設され、平成21年に「加賀の紅茶」を開発されました。

《スピーチの概要》

中国ではお茶は有史以前から不老長寿の薬用として飲まれていたようで、当時のお茶は緑茶でした。

イギリスと言えば「紅茶」と言われるほどですが、当時(1600年代)、イギリスは中国から輸入していたか……。紅茶を入れる時に、ミルクを先に入れるか、紅茶を入れて後からミルクを入れるのかなど、こだわりがあり、1600年、1700年ころは紅茶は高価で、王侯貴族の飲み物であったそうです。カップも現代のように持ち手がついたのは、アメリカが考えたものが伝わってきたもので、初めは日本の湯飲みのようなカップに入れて、熱いので、いったんソーサーに入れて、さまして音を立てて飲むのが礼儀だったようです。

日本には1200年から1300年ころ、弘法大使が持ち帰ったのが初めて、覚醒作用、殺菌作用があり、即効性はないが体にいいとされた。はじめは固形茶で、削って飲んでた。その後、僧 栄西が種を持ってきて、九州で栽培された。栄西が建てた寺が京都にある。1550年ころ、東山文化から利休時代、日本の茶道をヨーロッパに紹介。

加賀市打越では藩政時代から続いているお茶がある。前田利常が加賀に隠居し、小松の長保屋さんがお茶を植えたのが始まり。金沢から城端まで広まっていた。打越でとれたお茶から種々のお茶ができる。その中から平成21年に金沢でも紅茶をつくりはじめた。初めて作った30kgすべてを完売した。静岡へ茶葉をトラックで運んだが、中で発熱し、ダメになった。冷凍車で運んでもダメになった。今では道中2回休んで、茶葉を攪拌している。そこで昨年茶葉を蒸すための機械

を導入した。おいしいお茶ができるかどうか。かつての「茶の間の文化」の復興を願っている。地産地消で頑張りたい。



また、能登島の曲の耕作放棄地を借りて茶苗を植え、「能登紅茶」をつくるつもりである。能登島の10アールくらいは今年製品化できる予定で、紅茶の全国大会に参加するつもりであるとのこと。楽しみです。

(文責 山内ミハル)

Happy Birthday

メット 数澤 淑子さん 3月4日

4月の担当

聖句担当：伊藤 仁信君
ブリテン執筆：山内ミハルさん
伊藤 悦子さん
卓話担当：幸正 一誠君

~~~~~お知らせ~~~~~

☆中部合同メネット会

日時：2015年4月25日(土)～26日(日)

場所：金沢 彩の庭ホテル

金沢市長田2-4-8

Tel 076-235-5111

☆第3回中部評議会・EMC200推進委員会

日時：2015年4月25日(土)

場所：金沢 彩の庭ホテル

☆第18回西日本区大会

日時：2015年6月13日(土)～14日(日)

場所：ハイアットリージェンシー大阪

1月ブリテンに“厳冬の日本海の幸を食す会”と銘打って、メン・メネット合同新年会を兼ねての食事会のお知らせ記事が載りました。彗星のごとく現れた「瑠璃人」と名乗る料理人がなにやら大変な意気込みで「寒ブリ1本大会」を開催するというのです。買い付け、解体、調理、すべてお任せあれとのこと、大船に乗ったつもりで楽しみにしていました。ところが、間近になって料理人から「ブリが手に入らないかも知れない」となんだか心細い電話、肝心のブリがないのでは仕方がない、「牛のシャブシャブにでもする？」という話にまでなって、少々しょげていたのですが、当日の朝、「ブリ獲れた！！」と喜びの電話が入ったときは「やれやれ」と胸をなでおろしました。かの料理人も俄然張り切りだし、「メイン料理を出すまでのつまみに何か一品作って来て」と頼まれてはいましたが、「オレよりうまく作るな！」との駄目だしまで出る始末です。



待望の天然ブリを手に、ご満悦の料理人
瑠璃人(本名:幸正一誠ワイズ)

かくして無事、待望のブリ入手、ちょっと「小ブリ」とは言え1.8キロもあれば立派なものです。瑠璃人のテンションは上がるばかり、まるで自分が一本釣りで獲ったように、件のブリを両手に抱いての記念撮影に及び、みなさんに写真をご披露していました。シェフらしく白衣に身を包み「昼飯もまだ食べていない」と言いつつ、お気に入りのビールを呷りながら自慢の腕を揮っていました。

会場の山内邸が、朝から仕込んできたブリ大根のいい匂いに包まれる頃、当日参加の面々が

次々のご到着、テーブルセッティングする人、二階のキッチンでおにぎりを握る人、1階のお座敷へと料理を運ぶ人、みんなの協力で山内邸はさながら一流料亭へと席が整えられていきました。外は寒中ですが、お座敷は春のように温かく、大皿にダイナミックに盛られた寒ブリの刺身、ブリシャブ、ブリ大根ということなし



の贅沢ブリ三昧に、朝倉みゆきさん手作りのサラダ二種がいろいろを添えて下さいました。私は言われたとおり、料理人よりうまくなりません。気を使って控え目に作った前菜を。

美味しいお料理にお酒も進み、会話も弾んで楽しい夜が更けて行きました。「和風別邸 山内邸」と勝手に名付け、半ば強制的な会場のお願いに快くご承諾いただいた山内ワイズに心よりお礼申し上げます。後片付けが大変でしたでしょう。

当日は金沢教会の井ノ川牧師ご夫妻、青年会の八反さん、高橋さんのご参加もあり、総勢13名の賑やかな新年会となりました。

瑠璃人さん、また楽しい企画をお願いします。本当にお疲れ様でした。体調を崩されている渋谷メネットはじめ伊藤ご夫妻、藤井メンが参加出来なくて残念でした。次回を期待しましょう。

参加者は

(メン) 数澤、幸正(瑠璃人)、渋谷、西、山内、山本

(メネット) 数澤、山本

(ゲスト) 井ノ川ご夫妻、朝倉みゆきさん、高橋さん、八反さん

でした。

(数澤 淑子記)